

キノコいろいろ

ソライロタケなど希少種も

秋本番。身近な里山で、色鮮やかなキノコが例年になく「豊作」となっている。今年は9月に雨が多く気温も高いという、生育には絶好の環境に恵まれたためだ。神戸市の六甲山にある市立森林植物園(同市北区)では、スカイブルーの珍しいキノコ「ソライロタケ」の姿も。見頃は10月いっぱい、足元に目を凝らせば、珍しいキノコたちとの出会いが待っている。

■神戸・森林植物園■

ソライロタケは、イッ立ったようなかさをツボシメジ科のキノコ。け、木の根元でひっそりと生えていた。

兵庫県内で広範囲に分布しているが、県版レッドリストでは「一度に発生する個体が少なく、出合わずか数株程度の黄色いう機会も少ない」として「要注目種」に位置付けられる。10月上旬、同園を訪れると細かく、けばらに束になった「フサタケ」は、土手の上に生えていた。白いほろぎのよ

① 今年、キノコが例年になく「豊作」となっているのは、なぜですか？

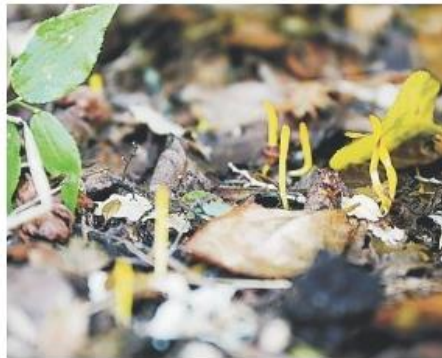
② 記者が、神戸市の市立森林植物園で見たキノコは、どのようなものでしたか？4種類の名前を書きましょう。

③ この植物園では、キノコを見つけたとき、禁止されていることは、どんなことですか？

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。



① 台名前通りの空色が目を引くソライロタケ=いずれも神戸市北区山田町上谷上
② 台ナギナタタケ
③ 台タマゴタケ ④ 台フサタケ



氏名()

NIEワークシート／小学校高学年～中学校／理科、総合、朝NIE